

ご 通 知

平成30年12月12日

敬天新聞社

社 主 白 倉 康 夫 殿

株式会社 ヤナセ

取 締 役 岡 村 泰 孝



TEL・03(5951)1525

FAX・03(3937)0531

記

- 1、敬天新聞社 社主白倉康夫 殿 におかれましては、日々国民の為に、政治経済、社会問題等に厳しい意見を述べられ、ご活躍されておられます事は、以前より紙面等を拝読し、深く感銘を受けております。
- 2、今回弊社の件に関し、黒木正博（阿比留正博）が引き起こした悪行極まる諸問題、及びI氏並びにI氏の関連会社に関連する件につき、御心配をして戴き、更に貴重な時間を費やし、益々のご奮闘に心より敬意を評します。
- 3、この度、貴殿は貴敬天新聞社紙面（株式会社ヤナセに関する記事①～⑥）において「小野沢朋一」及び「岡村泰孝」に関する記事を配信しております。貴殿が国家の安寧の為に書かれているという主義主張は、貴社からの先日の書面を拝読して、日々敬服しております。處で、貴社の記事が配信される度に、当方は多くの著名な方々から暖かき激励を受けております。そして多くの方々が貴社の記事が一部偏向記事であるとして、貴社を批判すると共に、社会に対して常に公平で、公器であるべき「敬天新聞」「東京アウトローズ」が、自ら反社勢力の関係者であることを公表し、親しく交際し、反社関係者を擁護する立場で記事を掲載されている事に驚き、そして嘆いております。
- 4、本年11月22日午後、敬天新聞社社主白倉康夫氏、奥村順一氏がI氏の事務所に週刊報道サイトの佐藤昇氏を呼び出し、4人で会合を持たれた事は

録音テープを拝聴し、当日の会合内容を確認致しました。

- 5、つきましては、貴敬天新聞社の記事内容につき、別紙質問状に回答して戴きたく、宜しくお願い申し上げます。

草々

質 問 状

- (1)、貴殿は週間報道サイトの記事が掲載された後、複数回にわたり記事を消すように週間報道サイトの佐藤昇氏に申し入れておられますが、何の為に記事を消す要求をしたのですか？
- (2)、その要求は白倉康夫氏自身の要求ですか？ 黒木正博の要求ですか？ それとも、I氏からの要求ですか？
- (3)、本年11月22日午後、I氏の事務所で、貴殿、奥村氏、I氏同席で佐藤氏を呼んだのは、何が目的ですか？記事を消させる事が目的ですか？
- (4)、貴殿は、「ヤナセ」関連の記事を出すことを、「I氏の了解をとって掲載した」と、聞き及んでおられますが、事実ですか？
- (5)、貴殿は、反「ヤナセ」関連の記事を掲載するについて、I氏から何らかの対価を得ていると聞き及んでおられますが、事実ですか？
- (6)、貴殿は、週間報道サイトの「I氏関連の記事を消す交渉する件」で、I氏から「報酬を得た」と聞き及んでおられますが、事実ですか？
- (7)、貴殿は、I氏とは、G氏時代からの交友関係と聞き及んでおります。貴殿の記事の掲載により、貴殿の知人であるI氏、G氏が大変な迷惑を受ける事になる事を望んでいるのですか？ 予見しなかったのですか？
- (8)、貴殿は、7階の事務所の賃貸契約を、I氏が反者関係者であることを秘して賃貸借している事を周知の上で、貴殿の記事上でI氏を実名で掲載したのは何故ですか？ 知人友人に対する信義違反ではないですか？

(9)、貴殿の記事掲載の後、マスコミ関係、警察関係者からの問い合わせがあり、大変迷惑を受けております。問合せ内容が、I氏と白倉氏の関係に関する質問が大半となっております。

貴殿が、貴殿自身への利益、若しくは、I氏、G氏への何らかの利益の為に掲載した記事の結果として、当方が望まないI氏の逮捕（賃貸契約書第7条、反社会勢力でない事の違反、及び第八条禁止行為違反）や事務所が契約解除等に陥った場合、貴殿はI氏に対してどのように責任をとる覚悟ですか？貴殿が友人としての責任でI氏の為に事務所を借りる覚悟はありますか？

(10)、「東京アウトローズ」奥村順一殿に、本年11月27日付で当方が送付した「ご通知」及び「質問状12問」につき、貴殿は重要質問事項には一切触れず、質問を歪曲して「ロシア女」とだけ掲載しております。事実を掲載しなかったのは、奥村氏から「質問事項を公表しないでくれ」と頼まれたから」と聞き及んでおりますが、事実ですか？

何故、敬天新聞は偏向報道をするのですか？

質問は以上です。

尚、本書到着後5日以内に回答下さいますよう、お願い申し上げます。

回答につきましては、「ヤナセ」記事連載の敬天新聞紙面に「ご通知」及び「質問状」を掲載して戴き、「貴殿回答書」を併記掲載し、紙面上で回答して戴くよう、お願い申し上げます。

又、敬天新聞社が公益を図る公器として、誠意ある偏向なき回答を掲載する事を祈念し、本書面を各報道関係者に送付しております。

貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬 具

平成30年12月12日

岡 村 泰 孝

